

ドバイ通信~シュクラン

ドバイ日本人学校
網本 大介
平成25年 12月20日
No. 4

ドキドキいっぱい バラエティーに富んだ イスラム教の国 ド・バ・イ

ドバイは、日中 25 度くらいでとても過ごしやすい時期となりました。朝晩は、肌寒さを感じることもあります。そんな中、ドバイ日本人学校 (DJS) の子ども達は、外で元気に活動しています。

今回のドバイ通信では、11月21日~22日に行われた砂漠キャンプについてお伝えします。友達同士の友情を深め、互いに協力し合う力を育むために、DJS では2年に1回、小学5年生 (G5) から中学3年生 (G9) の児童生徒が参加して『砂漠キャンプ』宿泊研修を行っています。今回の砂漠キャンプは、2日目に本格的な雨が降り、予定していた体験学習が中止になるなどの影響が出ましたが、広大な砂漠の大自然で、しっかりと体を動かし、友達と関わり合いながら活動したことで、普段の学習では得られない学びができました。

1日目



砂漠にあるキャメルロックと呼ばれる岩の周辺で自由時間です。ラクダが横を向いているように見えることから、キャメルロックと呼ばれています。



化石山で、貝の化石を採りました。グループで協力して、たくさんの化石を見つけました。



4WD の車で砂漠を移動。スリル満点です。

キャンプと言えば、『キャンプファイヤー』大変盛り上がりました。



キャンプサイトに着くと、ラクダに乗ったりサンドボードで遊んだりしました。テント設営では、同じ班の人で協力して設営することができました。



2日目

ドバイではとても珍しい雨・・・(実に7ヵ月ぶり)。



しかし

子ども達は雨にも負けず、元気に活動します！

雨はどんどん激しくなり、予定していた川遊び体験は中止になりました。

この日ドバイは、本格的な雨に見舞われ、交通機関が大きく乱れました。

順調なことばかりではありませんでしたが、今では、貴重な体験ができたと思っています。



砂漠キャンプ後の感想で、「協力する大切さを知った。」「友達との関わり合いが大事だと感じた。」など書いている児童がたくさんいました。日々の生活を見ていて、そのことが確実に実践されていると感じています。

また、DJSでは今、1月に行われる運動会に向けて全校が一生懸命に取り組んでいます。その取り組みの中で、関わり合い、協力している様子が随所に見られます。

1つの行事を通して成長した子ども達。砂漠キャンプで培った力を次の大きな目標達成に向けて十分に発揮してほしいと思います。そして、子ども達が大きな舞台上で自分の力を発揮するために、私は日々の教育活動の指導にしっかりと取り組んでいきます。